

# 学校だより



令和3(2021)年2月1日  
尼崎市立あまよう特別支援学校  
あかるく まえをむいて よろこび うまれる  
No. 12

先日から、暖かくなっただと思えば急に寒くなるなど、寒暖差の激しい気候が続いていますが、季節は確実に春に向かっていていると感じます。しかし、体調管理は大変難しいと思います。コロナウイルスもまだまだ落ち着いていませんので、十分に気をつけましょう。

2月と言えば『節分』です。授業でも、鬼が登場して豆まきをしたり、絵本などを使って節分についての学習をしたりしているクラスもあります。節分は、「みんなが健康で幸せに過ごせますように」という意味をこめて、悪いものを追い出す日と言われています。「鬼は外、福はうち」と言いながら豆をまいて厄を払いますが、この豆まきが行われるようになったのは室町時代頃と言われています。

節分は、その言葉の通り、季節の分かれ目です。立春の日の前日となるので、今年は2月2日が節分となります。ちなみに節分が2月2日になるのは、明治30(1897)年2月2日以来124年ぶりとのことだそうです。そして、恵方巻を食べる習慣もありますね。今年の恵方は「南南東」です。緊急事態宣言がでており不安な状況は続いていますが、節分を機にみんなが元気に、幸せに過ごせる1年になることを願いたいものです。

## 1月らしい掲示が、あちこちで見られました!!



全国学校給食週間に合わせて、あまようでも1月25日～29日まで、給食週間を実施しました。給食時の子どもたちの様子や普段見られない給食室の調理器具や調理作業の様子、そして調理師さんの写真や尼崎市の給食の歴史などが掲示されました。子どもたちは、食べ物クイズにチャレンジしました。



